

田川地区の県立高校再編整備計画案に係る未就学児保護者対象説明会
参加者アンケート結果（回答者 25 名／参加者 32 名＝回答率 78%）

◆ 参加者の居住地

鶴岡市	庄内町	三川町	その他	無回答	合計
23名	0名	2名	0名	0名	25名
92%	0%	8%	0%	0%	100%

◆ 参加者の立場

幼稚園や保育園に通う子どもの保護者として	その他	無回答	合計
25名	0名	0名	25名

◆ 参加者の理由(複数回答可)

「田川地区の県立高校再編整備計画案」の内容を詳しく知りたかったから	「田川地区の県立高校再編整備計画案」に意見を述べたかったから	「庄内中高一貫校（仮称）」の内容を詳しく知りたかったから	「庄内中高一貫校（仮称）」に意見を述べたかったから	その他	無回答
17名	2名	22名	2名	0名	0名

◆ 「田川地区の県立高校再編整備計画案」の説明に対する理解

わかった	おおむねわかった	あまりわからなかった	わからなかった	無回答	合計
5名	19名	1名	0名	0名	25名
20%	76%	4%	0%	0%	100%

◆ 「田川地区の県立高校再編整備計画案」についての意見・感想

- 賛成です。
- 再編の必要性は理解します。
- 分かりやすく説明いただき、ありがとうございます。細かいことを言えば、質問や不安はつきないと思います。しかし、少子化や現在の状況を鑑みれば考えていかなければならないと思います。概ね賛成です。
- 子どもの数が減少しているため、現状を維持するのは難しいということは十分に理解していましたが、具体的な案を知ることができ良かった。
- 水産科・農業科の生徒が鶴岡中央高校に通学してから実習で各施設に行くという方法は、生徒・学校全体が一体化して良いと思った。
- 農業科・水産科の内容はとても良いと思う。

- 少子化と人口流出の流れに対応するには、現段階でMore betterなプランだと思いますが、郡部の子どもが更に大変になるだろうと考えると切なさも感じます。中高一貫校であれ、その他であれ、将来故郷に戻り、花を咲かせたいと思ってくれるような人材育成を願います。
- 高校存続のために少数校は統合されていってしまうというのは仕方がないと思いつつ、多様性を受け入れてくれる高校作りをしてくれるのであれば、再編については意味のあるものだと思います。高校もほぼ義務教育とかわらない水準までになっていますし、自立した生活を営むためにも、高校教育も多様化が必要になってくるのではないかと。制度の手からもれてしまうところをどうくみ取るかも、公的な役目なのではないでしょうか。
- 高校への通学が難しくなる生徒も出るかと思う。JRやバスなど、遠方からの通学者には支援金を出すなどのフォローがあると良いのではないかと。
- 少子化の進行は厳然とあるので、県立高校の再編は仕方ないと思います。それでも、現行の教育レベルは維持してほしい。具体的には、鶴岡南高校のレベルの維持。鶴岡市は市町村合併で広域になっている。通学地域は三川や庄内町も加えて広い。その条件は変わらないわけで、高校の数は減らしても、全体像はこのままであってほしい。「中高一貫校をつくる」とことと同一にしてほしくない。
- 家に帰って再度資料を見ようと思いますが、ご家庭によってやはり考えている部分は違うので、トータルして将来、よい教育が行える場所ができればいいなと思いました。保護者として様々な想いを抱えているなと思いました。
- これからの部分が多く、現在のままでやれることを続けてほしい。
- この計画案と直接関係ないが、加茂水産高校や庄内農業高校など特色ある授業、専門人材を育成する高校の生徒を全国から募集できないのでしょうか。越（隣）県入学を認めるも集まっていないと聞いています。
- 学力に関してだけではなく、青森のいじめの事件のようなことが起こらないような人間性を育む学校になってほしいと思います。
- 国や県の都合による再編整備だと感じた。子どものためという視点がうすく感じた。

◆ 「庄内中高一貫校(仮称)」の説明に対する理解

わかった	おおむねわかった	あまりわからなかった	わからなかった	無回答	合計
5名	18名	1名	0名	1名	25名
20%	72%	4%	0名	4名	100%

◆ 「庄内中高一貫校(仮称)」についての意見・感想

- 庄内の特色を生かした教育が展開され、山形大学農学部や慶應義塾大学などと連携し、庄内や山形にとって必要となる人材の育成をするなど、10年後、20年後さらにその後のことを考えて、この再編が良かったと言えるようにしていきたいです。また、東桜学館の今後の進

路についても興味があります。

- 東桜学館に通っている子ども、保護者の話を聞いてみたいと思った。過去の意見に出ている「伝統を守る」的な意見は、大人のエゴだと思う。子ども達の将来を考えれば、そんな意見はない。「競争させるのが反対」という人は、受けさせなければ良いだけ。
- OB、OGなどではなく、子ども達のことを考え、選択肢を増やしてほしい。
- 「伝統」は今から生きていく子たちも感じることは必要だと思いますが、過去の人ほど大事には考えなくても良いと思っています。これからの子ども達のために、中高一貫校には賛成です。
- 大いに期待しています。様々な否定的な意見もあるでしょうが、ぜひ早期実現して下さい。私は生まれも育ちも鶴岡ですが、この地域の伝統という言葉のしぼりが好きではなく、すべては未来ある子どものため有益なことを最重要視してほしいと思っています。小中学校は市立のみで住所で決まる現状だと、価値観や意思疎通のうまく合わない保護者との交わりから逃れられず苦痛なのですが、中高一貫校だとそれなりに考えている方が多いのではないかと期待しています。教育の選択肢を増やしていただき、安心して子どもを学校にお任せしたいです。
- 選択肢が増えることに賛成です。現状、いろいろな困難・課題があるかと思いますが、未来の子ども達を第一に考えた方向に、と思います。
- 現状、中学校の選択肢が増えることがありがたい。不登校の長女がいます（中3）。原因は中学校の人間関係です。鶴岡では小学校→中学校にほぼ全員進学します。いじめの問題の場合、中学校を選べないのが一番の問題です。
- 現在年少児の子どもがおります。地域差は仕方ないと思っていましたが、中高一貫校に入学できれば、余裕をもって学習ができると思っていますため賛成です。子どものために、実現できることを祈ります。（落ち着いて面接を受けられるかは心配ですが。）
- 賛成です。要望として①計画案でH36開校とした以上やるべき。遅らせるのが最もダメ。サイレントマジョリティの期待を裏切ることになる。②長い目で見て、新校舎をサイエンスパークあたりに。
- 利用しやすいように（通学面）での配慮を期待します。選択肢が増えるのは大変良いことだと思います。
- 新設中学校については、他の庄内の中学校に影響が出ないように、適正な定員にしてほしい。
- 「こうしたい」という方針は見えたが、具体性はあまりまだ見えてきていない。仮のカリキュラムを組むなど、内容をもう少し議論を進めていただきたい。
- 予定地の状況から郡部からの通学は親のマンパワーが必要であると思いました。駅から遠いので、道路整備も必要と思いますし、ハード面での未だ課題も多いかと考えます。
- 子どもの進学については、子ども自身が将来を考え、進学すべき学校を選択してもらいたい。その選択を小学校高学年でできるのかと想像すると、具体的に考え選択するには困難かもしれない。親のサポートは必要になるが、親の思いが強くなりすぎて、子どもの進むべき

進路がせまくなならないように導いていかなければならないと感じた。

- 他県の一貫校のデータを見るとメリットが多いというが、庄内という地域で、よりレベルの高い人材を育てて、レベルの高い大学へ進学をし、その知識を地元に戻元できる環境を整えることも大事かと思った。
- 中高一貫校にするメリットがあまりよくわからない。入学者選抜において、各小学校の評定で差がうまれないのか。(ナンバースクールの大きい学校と、小規模の学校の評定の差)
- 学力の向上を目指す目的でありながら、唯一の進学校(鶴岡南高校)をなくすという矛盾を感じている。
- 地域における「進学校」としての鶴岡南高校の役割を守っていただきたい。公立の中高一貫校が「進学校」たり得るのか疑問(他県の状況を見ても)。中高一貫校の恩恵にあずかれるのは、旧鶴岡市内の生徒だけではないか。私は温海地区在住なので、中学校から市内へ通うなどは非現実的。公立中学校を卒業して高校入試を経て、入学する人数枠をしっかりと確保すべき。鶴岡南高校には「進学校」としての需要が確実に存在するのですから、中高一貫校にはそぐわない。従いまして、公立中高一貫の意義は認めますが、鶴岡南高校を中高一貫校化することには反対します。郡部在住の生徒は、高校からの入学になることが多いと思います。郡部の生徒が不利にならないような制度設計をお願いします。
- 高校の再編と混同してほしくない。東桜学館のように新設でやってもらいたい。6年で伸びる生徒は中高一貫校でなくても伸びるでしょう。高校再編で鶴岡南高校+鶴岡北高校5(～6)学級、中高一貫を新設して中～高2(～3)学級などでどうか。

以上